

豪州：食品安全や賞味期限管理、食品ロス削減への2D活用

Woolworths

概要

- ▶ 表示目的 食品安全や食品ロス削減、賞味期限の管理、生産性の向上、トレーサビリティの確保等。
- ▶ 効果
 - ・ 賞味期限切れで廃棄される商品が40%の削減
 - ・ 二次元シンボルを導入している店舗での生産性が、賞味期限管理の効率化により最大21%向上。
- ▶ 今後 二次元シンボルを活用した原材料・品質・サステナビリティに関する情報提供も検討中。

ポイント

- ▶ 経緯 2019年実証実験から開始。2022年には食肉カテゴリの50%以上に表示されている。活用店舗数は1000以上（現在も拡大中）。
- ▶ GS1データマトリックスのデータ
 - ・ GTIN
 - ・ 価格、重量
 - ・ 賞味/消費期限（商品によっては時間も）、ロット番号

食肉に表示されたGS1データマトリックス



“Woolworthsでは、このバーコードの可能性を活かして、お客様に産地や品質、サステナビリティに関する価値ある情報を提供する予定です。サプライヤーと共に良い明日を目指す中で、二次元バーコードは、認証された製品のサステナビリティ証明書の顧客へのアピールに役立ちます。”

-Roberto Olivares, Senior Project Manager, Woolworths

オーストラリア

食肉・デリ・チーズ

- ☐ 調査中
- ☒ 導入済み
- ☐ パイロット

- ☐ QRコード
- ☒ GS1データマトリックス
- ☐ その他

- ☐ オープンな環境
- ☒ クローズな環境

